

勅授

丙
昭和五年六月廿三日
第一二五四號

立案	昭和	年	月	日
決裁	昭和	年	月	日

爵位課長

宗秩寮總裁

宮内事務官

故海軍少將福村利明外三位階追陞
一件

昭和五年六月廿三日
臺帳記入七月九日
官報報告済

發令

裏面白紙



故海軍少將福村利明外三名位階追陞ノ件
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和二十年六月二十一日

内閣總理大臣男爵鈴木貫太郎

内

閣

人海位第 四九三 號

案 起	昭 和 三 十 年 六 月 日
裁 可	三 十 年 六 月 廿 一 日 施 行
決 定	昭 和 年 月 日

内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣書記官

故海軍少將福村利明外三名位階追
陞ノ件

辭令案

例文

内閣

裏面白紙

凡大元

敘從四位 昭和十九年五月十五日死亡 故海軍少將 正五位 福村利明

昭和二十年十月一日任海軍少尉以來在職十年以上

敘從四位 昭和十九年七月二十六日死亡 故海軍少將 正五位 木梨盛一

大正十三年十二月一日任海軍少尉以來在職十年以上

敘從四位 昭和十九年八月七日死亡 故海軍中將 正五位 中原義一郎

大正十年六月一日任海軍少尉以來在職十年以上

海軍

敘從四位 昭和十九年十一月十八日死亡 故海軍中將 正五位 松村寛治

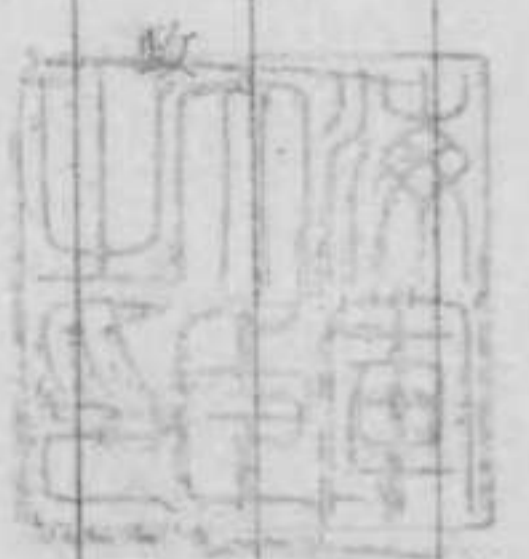
大正十二年九月二十日任海軍少尉以來在職十年以上

右文武官敘位進階内閣第四條ノ二ニ依リ

謹テ奏ス

昭和二十年六月十四日

海軍大臣 米内光



(別紙)

昭和十九年五月十五日
昭和十九年七月五日
昭和十九年八月七日
昭和十九年七月十八日

印度洋方面ニテ戦死 海軍少將
比島方面ニテ戦死 同
南西諸島方面ニテ戦死 海軍中將
内南洋方面ニテ戦死 同

福村利明
木梨慶一
中原義一郎
松村寛治

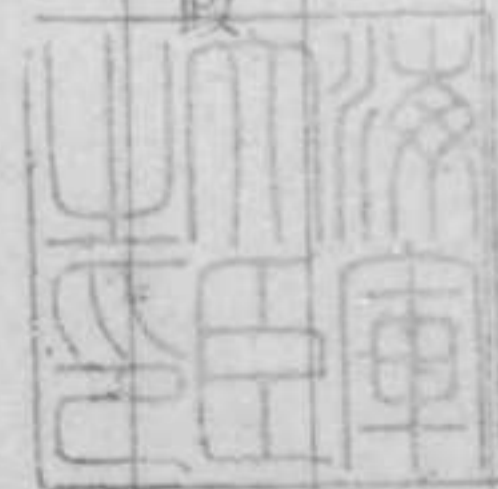
(終)

裏面白紙

海秘人第一三六六號

昭和二十年六月十四日

海軍大臣 米内光政



内閣總理大臣 男爵 鈴木 貫太郎 殿

故海軍少將福村利明外三名ハ多年軍職ニ在リテ克ク其ノ
任務ヲ盡シ功績顯著ノ者ニ候處大東亞戰爭作戰從事中別
紙記載ノ通戦死致候ニ付テハ特ニ位一級被追授度別紙上

海軍

奏書進達ス

(終)

官報
不登

海軍大臣印
206.16
付受

海軍大臣印
206.16
付受

裏面白紙

丙 發第一〇六號

一 海軍少將正五位 福村和明 外三名
右本日特旨ヲ以テ敍位相成候ニ付此旨及傳達候位
記竝辭令ハ追テ可及回送候也

昭和二十年 六月廿二日

宗秩寮總裁子爵 武者小路公共

海軍大臣 米内光政 殿

（傳令番号）

（傳令六月廿二日）

（海軍省第一二六六号）

宮内省

二張算紙

裏面白紙

二
號
紙

丙
四
五

一故海軍中將福村利明外十五名
右任記在詳令回送候修交付方御取計有之度候也

昭和五年八月二十六日

總
裁

才二復員引長宛

海軍人才一三六六号

〃	〃	〃	〃	〃	〃
一	一	一	一	一	一
二	四	四	四	三	三
二	一	四	二	四	四
九	八	二	二	六	六
〃	〃	〃	〃	〃	〃

宮
内
省